

新年度になりました。様々な事を引きずりながら始まったと思われる4月ですが、芽を出す為にも根は張り続けていくもの。 本号では、生活創造空間にしの阿部館長、佐瀬副館長によるご挨拶からはじめさせて頂きます。



やりたいことより、やらなければならないことが山のようにあり、なかなか前向きな話題が出せないような昨今ではありますが、新年度の目標を話せるせっかくの機会ですので、 "あんなこと良いな、出来たら良いな"なんて事を書きたいと思います。

まず、エヌ・クラップには本体のシャララカフェ+ともしび喫茶4店舗、合計5つのカフェレストランがあります。 住みたい街ランキング2020、1位のこの横浜に5つものお店があります。 ↓以下は所長の妄想です

そこにはこのエヌ・クラップの 3 階で作ったパンとレトルト食品をメニューとして提供して、それがどれもバカ売れ! レトルト食品は通販とかもしちゃって、これもバカ売れ! 箱折り作業とかチラシ作ったりするのは受注作業チームでしっかりバックアップ。 Hanako とか横浜 Walker とかにも載っちゃって大変!! もちろんそこで働いている人はエヌ・クラップのご利用者さんたち、おしゃれな制服に身を包み、たまに王様のブランチとか石ちゃんとか来て取材とか受けちゃったりします。この生活創造空間にしで技術を磨いたハウスクリーニングチームも各店舗を綺麗にしながら、たくさんのお客様をお迎えします。カフェ内の一部屋であるマッサージルームも視覚障害の方を多く雇用して、多店舗展開! 1 人暮らしをしたい利用者さんは自分のお給料でちょっとおしゃれなマンション暮らし、親御さんと同居の方は、その方のボーナスで毎年海外旅行に行くのが恒例行事です。

今は所長の戯言ですし、俗っぽいことをならべてしまいましたが、今書いたようなことを 少しでも実現できるような仕事をしていきたいと思います。

夢の第一歩として [レトルトカレー] 2020.5 月リニューアル予定!!!

#### 屋上のチューリップはみんなに見てもらいたくて、ウズウズしています!

いよいよ春本番!!屋上庭園「檸檬」は、たくさんの花で囲まれています。 芝桜、パンジー、ラベンダーなどなど。でもこの時期、やはり何といってもチュー リップですよね。歌にもあるように、♪~赤・白・黄色~♬。様々な色・形のチュ ーリップが咲いています。

今、地域活動ホームがどうあるべきか問われています。誰もが集える地域の拠点に人がいない…。人と人とがつながれない…。普通に行えていたことが行えない苦しさをみんなが感じています。みんなが見えない敵と先の見えない闇の中で戦っています。そして、不安を抱えています。このような今まで経験したことのない状況の中で、地域活動ホームが拠点として何をできるか?何をすべきか?日々、考えさせられています。

そういえば、皆さんは知っていますか?チューリップの花言葉…。

「おもいやり」です。こんな時だからこそ、一人一人が「おもいやり」をもって、この危機を乗り切りたい。そう願っています。

「来年は、皆さんとお会いできること、楽しみにしています!」と、 チューリップが申しておりますので、何卒よろしくお願いいたします!



# 020年度 各種研修レポート

#### 第4回『働く!暮らす!について語ろう!』 令和二年 2月14日(金) 17時半~19時 参加者…39名

今年度4回目の生活創造空間にし研修は2月14日(金)に行いました。地域で働き、暮らしている障害をお持ちのお三方に登壇していただき、それぞれの「働く!暮らす!」について語ってくださいました。 後日、2番目に登壇された関口様より、ご感想を頂きましたので掲載させていただきます。



今回、皆さんの前で話させてもらいまして・・・ 少し自分の気持ちや感情を外に発信してもいいのかな~って思えました。

これまで家庭の事で仕事が上手く行かなくなって、一般的に精神病になって、仕事も無く親も無く友達らしい人もいなく、

1人でやっていくしかないんだって思っていました

けど・・・ピュアルトで生活していく中で、利用者さんやスタッフさんとの交流を少しずつしていって、

人とかかわってもいいように思えてきました。自分の中で1人じゃないように思えました。 自分は、人とのコミュニケーションが上手くない事とかが解りました。だから仕事とかが、上手くできない事が解りました。 これからは、コミュニケーションを上手くできるように勉強していけば、仕事をはじめ、

色々、上手く生活が楽しく過ごせるように思えます。これから楽しい生活を過ごしたいです。

(ピュアルト 関口 尚志)

#### 西区みんなの相談窓口主催 『地域共生社会の実現に向けて』 令和二年 1月22日(水) 18時半~20時半 参加者…40名

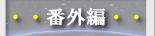
~地域力強化と包括的支援の取り組み・西区地域自立支援協議会 10 年含め地域福祉から~と副題を付けた研修が、西区みんなの相 談窓口主催、西区自立支援協議会共催で行われました。2 部構成で、前半は各分野より区内地域での取り組みが報告され、後半は、地 域共生社会の実現に向けての講義がありました。

前半①【子ども・子育て】分野"包括支援の現在とこれから"西区地域子育て支援拠点スマイルポート 山田 美智子氏。②【高齢 者】分野"地域包括支援センターとは"横浜市宮崎地域ケアプラザ 山崎 未来氏、横浜市戸部本町地域ケアプラザ 植村 希氏。③【障 がい福祉】分野"現在とこれから"生活支援センター西 永瀬 誠氏、横浜中部就労支援センター 芝野 奈緒子氏、地域活動ホームガ ッツ・びーと西 阿部 浩之氏。④【生活困窮者自立支援】分野"包括支援の現在とこれから"西区生活支援課、川島 春樹氏。後半で は、全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員、機関紙「手をつなぐ」編集委員、発達障害白書編集委員、内閣府障害者差別解 消法アドバイザーなど、様々な肩書をお持ちでいらっしゃる、又村 あおい氏の講義でしたが、前半の区内各分野の報告を受けて、 用意していただいた資料をさらに深堀した密度の濃いお話をいただけたと思います。終了時間も大幅にオーバーしてしまいましたが、 区内のこれまでの取り組みが"地域共生社会の実現"に向かっていることを確信できた研修であったかと思います。

ご参加いただいた方より、「分野に留まらない広い視点で考えることが地域づくりに繋がる。」「地域に注目して制度のはざまを超え ていくことが大切だと思った。」「自分に何ができるか考えながら話を聞いた。」「大変内容が濃かったため、もっとゆっくりと聞きた い。」「駆け足になってしまいもったいない。また企画してほしい。」といった声が多数ありました。福祉関係の職員のみならず、地域 の方からも感想をたくさんいただき、まさに地域と一体となって西区のこれからを考える時間を共有できた研修であったと思います。

(西区基幹相談支援センター 渡部 久実子)

### 西区自立支援協議会主催 『あらためて意思決定支援を考える』 令和二年 2月4日(火) 18時~20時 参加者…38名



3年半ほど前、津久井やまゆり園での殺傷事件が起きました。元職員が「意思疎通のできない人は生きている意味がない」という 理由で殺傷を行ったことで衝撃が走りました。私たち支援者は障がい当事者たちの『意思』をきちんと聴けていたのだろうか。『意思』 をどのように受け取ってきたのだろうか・・・。公判の最中、まだまだ寒い2月4日に、東洋大学の高山直樹先生をお招きして、『改め て、意思決定支援を考える』と題して研修を行いました。外部からも多くの参加があり、皆様の関心の高さを感じます。

高山先生は津久井やまゆり園の意思決定支援アドバイザーを務めていらっしゃいますので、その実践も交えながらの講義でした。 研修内容は講義半分、グループワーク半分で行いました。その中から印象に残ったキーワードを紹介します。

- ●親と障害当事者、職員と障害当事者は、紐帯で言うと強い紐帯になってしまう。(※紐帯・・・着物の帯や紐のこと。) 当事者が自由に物を言える関係ではない場合がある。弱い紐帯が必要である。友達など。
- ●どこにでも、自分の中にも内なる植松がいるのではないか。
- ●カンファレンスは本人参加。本人参加を繰り返したことで、職員の意識が変わってきた。
- ●障害当事者本人の可能性を一番狭めるのは家族。次に職員。

アンケート結果でも、90%以上の方から<満足>の返答がありました。

津久井やまゆり園の取り組みは特別では無く、社会全体で取り組むこと、社会へ働きかけること、できることから取り組むことの 大切さを感じた夜でした。 (西区基幹相談支援センター 杉村 久予)

CHARLES OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE

# 心をいやす歌とピアノのハーモニーコンサート邂逅 Vol.26

今回、当所では初登場の **橋本 芳美**(はしもと よしみ) さん。 普段から演者さんが決まると直ぐにリサーチしちゃう私なのですが、 調べてもネット上には情報が殆ど無い…けど、素敵な宣材写真はある… 「一体…どんな方なのだろう…」

と、軽くミステリアスに感じながら、想像を膨らませて迎えた当日ー。 スタッフは4名もいらっしゃり、PAやパソコンを使って、 スクリーンに映像を映しながら、創造されていく雰囲気。 空間を最大限利用したエンターテイメントとの邂逅となりました。

となりのトトロ、愛燦燦、365 日の紙飛行機と… 様々なジャンルの曲を歌い上げるお姿は、Diva(歌姫)そのもの。

次回、皆様に来館して頂く事は少し先になってしまうかも知れませんが、 また、このコンサート邂逅でお会いできる日を心待ちにしています。 (ガッツ・びーと西 古田中 一輝)





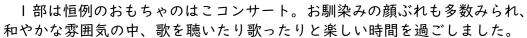


# 七草の節供



令和2年1月10日(金) 生活創造空間にしにて、「七草の節供」が開催されました。

この時期の日照時間に合わせて開催時間が通常よりも早く、16:00~18:30 の時間設定で開催されました。子どもも大人も、高齢の方も、お子さん連れの方も、障がいのある方も、色んな方が参加して下さり、約**8 | 名**の方が参加して下さいました。





2 部は 5 階会場でのバイキング。エレベーターで順序良く 5 階へあがります。本日のメニューは、先ずは節供の名前にもある<七草がゆ>、定番メニューの<から揚げ>、おかゆだけでは足りない方に<焼きうどん>、寒い日には恋しい<おでん>、みんな大好き<フライドポテト>、野菜もしっかり食べてほしいので<シーザーサラダ>、忘れてはいけない<デザート 2 種>、そしてもちろん、定番の<三浦創生舎の餃子>も大好評!!

今回は会場を食堂のみとしたこともあり、いろいろな方がテーブルで顔を合わせ、「いつもの節供とは違う出会いがありました♪」など、嬉しいお声もいただきました。



次回は、3月6日(金) 16:30~19:00 **桃の節供**です**ぬ** たくさんのお越しをお待ちしています!! *(※桃の節供は中止となりました)* (西区基幹相談支援センター 渡部 久美子)

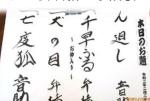
### にぎわい&にしよこ寄席 其の76 2月29日(よ)報告

2月末、もうすでに巷では、新型コロナウイルス感染症の影響が諸所に、開演、公演の延期、中止が聞こえてきている中、開 催も危ぶみましたが、演者のご協力、是非にというお話をいただき「にぎわい&にしよこ寄席」、もちろん毎回の横浜にぎわい 座さんに協力をいただき開演することができました。

雷門音助さん、春風亭弁橋さんの二つ目のお二人、ありがとうございました。二つ目というのは、江戸落語家の階級の一つ で、入門して「前座」として数年間の修業を終えて、裏方の仕事から外れ、ひとり立ちする。高座で羽織やはかまを身に着けるこ とが許され、自身の落語会を開催し、手ぬぐいを作ることができる。二ツ目として経験を積んで技量が認められると「真打ち」に 昇進するという事のようです。お二人とも、目指せ「真打」、みなさんで応援しましょう。









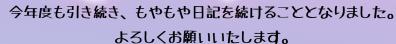


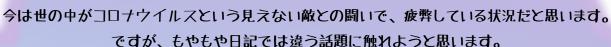
音助さんは、出囃子のたぬきにのり「ん廻し」「七度狐」。弁橋さんは、「千早ぶる」「犬の目」と二題を演じてくださり、最後に、 お二人とも歌舞を披露して、お開きとなりました。客席は、いつものように賑やかな、あたたかな笑いに包まれたことは言うまで もありません。

次回も皆さんのお越しをお待ちしいたしますが、昨今のコロナの騒ぎが早く落ち着くよう願うばかりです。どうぞそんな時節 です、近隣の皆様はじめ皆さまのご健康を祈念し、またお会いできる日が早く訪れるよう願うばかりであります。 今後も、何卒ご贔屓にこの場の応援をよろしくお願いいたします。

松乃家 ふくかん

## 男 もや田 のもやもや日記





くだらない話ですが、年度が変わり、新たな人との出会いがある季節、コミュニケーションの一環で、 よく聞かれるのですが、「血液型は何型ですか?」「犬派?猫派?」とか。

血液型って、4類型しかないですし、仮に同じ血液型である確率は1/4で、そんなに 珍しいことではないと考えます。血液型での特性判断も、人によって違うし、そこそこ関係性が あれば良いですが、初対面の人に「A型に見えない!0型っぽいですね!」などと言われても、 そもそも所見であなたは人のどこを見てどう評価しているのですか?と聞いてみたい。

犬派か猫派かという問いに関しては、可愛いものは可愛いし、派閥を作って闘うつもりでもあるのか 疑問に思います。でも結局、そんなこと言うことはできず、

> 「0型です!」「どちらかと言えば犬派ですね!」 などと毎回にこやかに答えてしまう自分に、もやもやしております。

※第44号の生活創造空間にしイベントスケジュールは、お伝えできる予定が現状ないため、未掲載とさせて頂きました。

生活創造空間にし URL: http://www.souzoukuukannishi.org 【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40 ☎ 045-250-6506(ガッツ・びーと西) ☎ 045-250-6470(エヌ・クラップ)